第9回 情報戦略フォーラム

FUJITSU
shaping tomorrow with you

大学・研究機関に関連するセキュリティの取り組み、対策の考え方

富士通株式会社
サイバーセキュリティ事業戦略本部
大迫　剛史（CISSP）

富士通グループのナレッジを集約するセキュリティラボ
FUJITSU Advanced Artifact Analysis Laboratory

2015年11月 新設

略称：A3L（エーキューブラボ）

- 巧妙化するサイバー攻撃への追従、高度な分析・解析技術の集約・強化を目的に新設
- インシデントの分析・マルウェア解析と、サイバー脅威情報(CTI)の活用により新たな攻撃手法を発見し、サービスへ展開

お客様

セキュリティ運用サービス 等

社内情シス部門、
クラウドCERT 等

社内実践知

外部インテリジェンス

外部団体 等

A3L(エーキューブラボ)

・マルウェア解析／デジタルフォレンジック
・サイバー脅威情報収集／蓄積
・セキュリティアナリストの育成
・最先端技術の調査・適用　等

製品・サービス・SI

開発・構築ノウハウ

最先端技術・製品

他リージョン

FUJITSU

セキュリティ人材育成

A3Lの大学・研究機関に対する取り組み

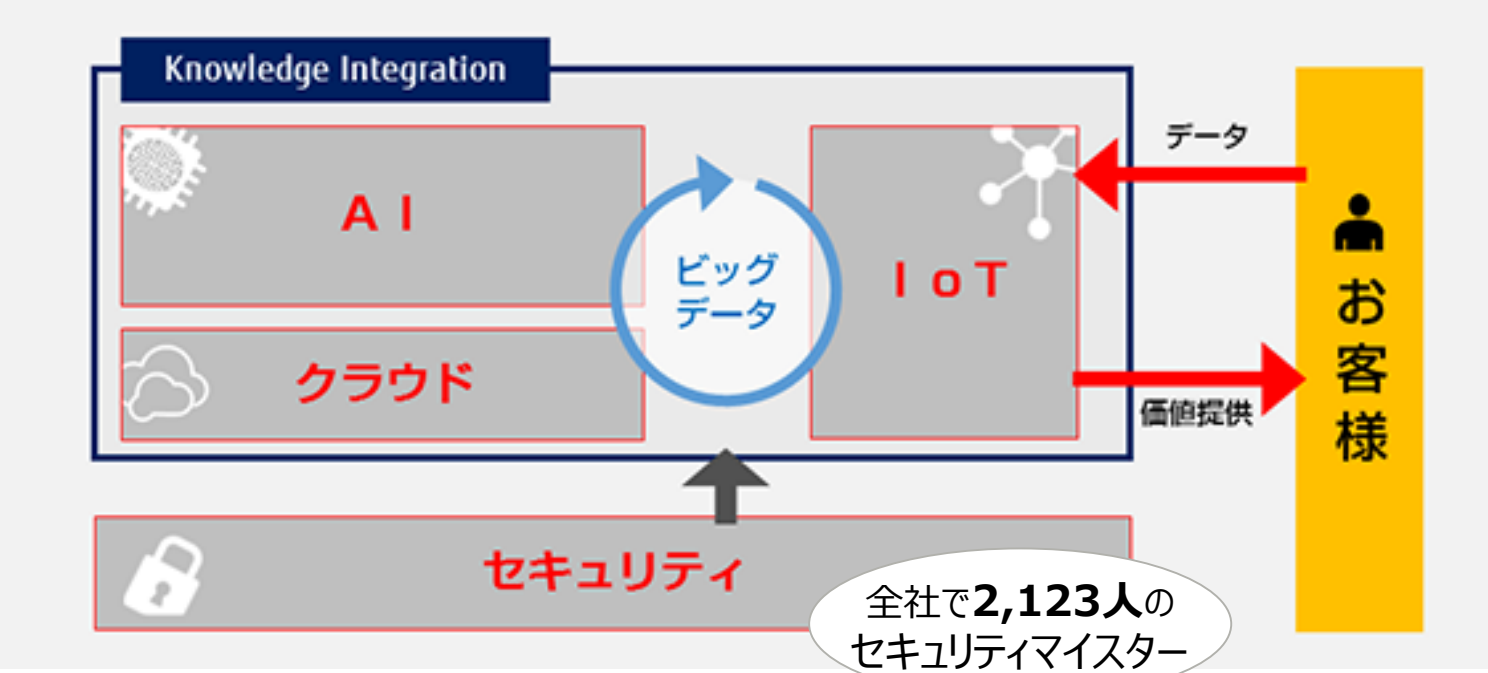
FUJITSU

インターンシップを受入れ、学生に
サイバーセキュリティ最前線を経験してもらう

- 10日間
- デジタルフォレンジック、マルウェア解析
- 解析するだけでなく、レポーティングを意識した実践形式

デジタル時代のつながるサービスを担うセキュリティマイスター

**デジタル時代の「つながるサービス」の実現に向けて、
富士通はイノベーションの土台を自社の
認定制度「セキュリティマイスター」による育成で実現。**



自社構築した国産サイバーレンジ「CYBERIUM」の応用

FUJITSU

自社での人材育成に留まらず、
地域と若者にセキュリティマインドを考え育んでもらう場を提供。

サイバーレンジ「CYBERIUM」

コンテンツ展開

虎ノ門

品川

ポータブル

愛媛大学、県警とSEC道後で実践

蒲田PLY

総務省、NICTとSecHack365で実践

育む場の提供

愛媛大学様、愛媛県警様とSEC道後で実践

FUJITSU

地元の学生と産官学の関係者が一緒に
実機を使ったハンズオンにて実践でセキュリティの必要性を学ぶ。

大学・研究機関向けセキュリティ対策の考え方

教育機関における代表的なセキュリティ事故

FUJITSU

タイプ１

IPA情報セキュリティ
10大脅威2016 第1位

標的型攻撃（サイバー攻撃）による情報流出

タイプ3

IPA情報セキュリティ
10大脅威2016 第2位

内部不正による情報漏えい

タイプ2

近年急増する
セキュリティ脅威

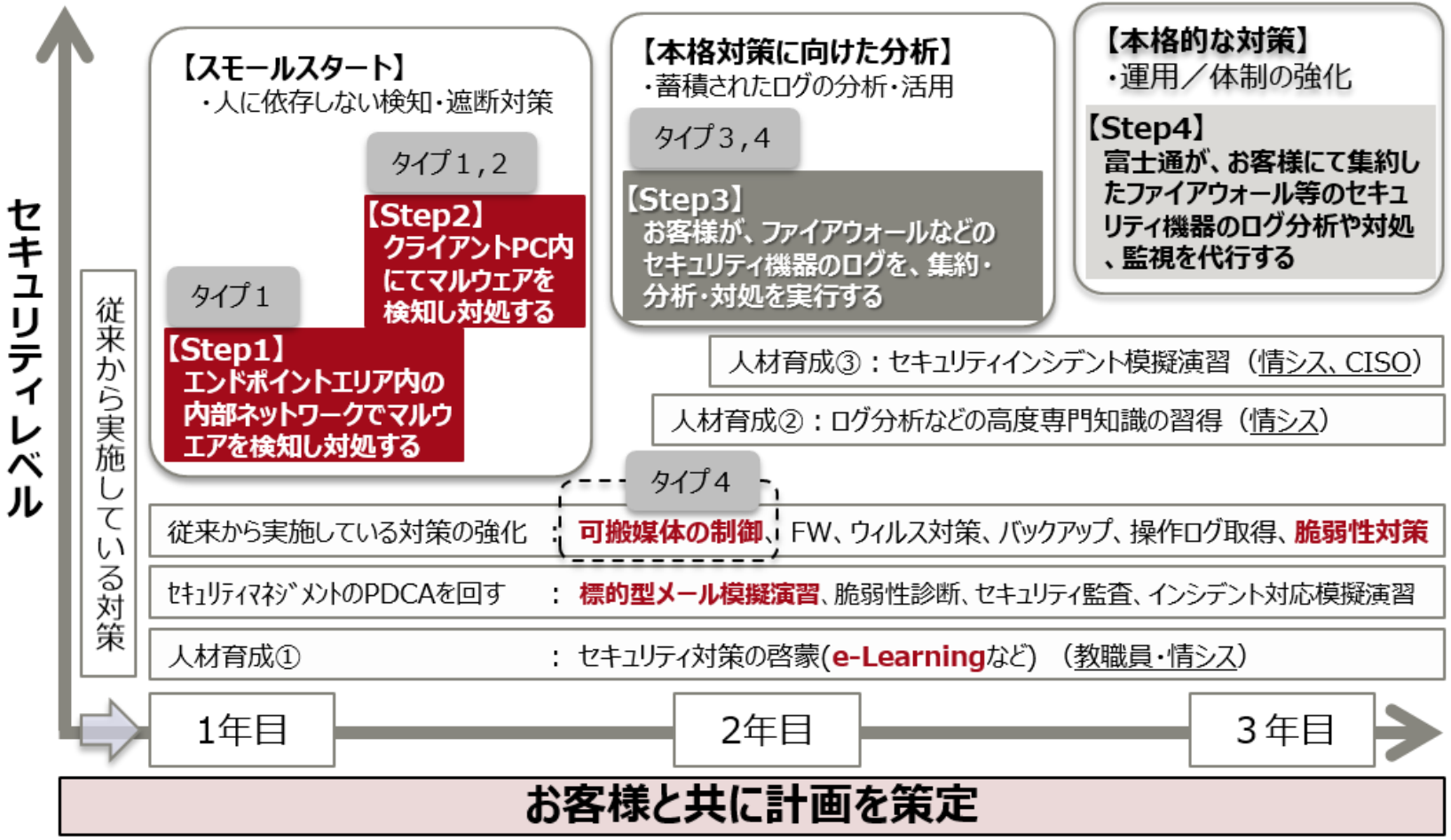
ランサムウェアを使った詐欺・恐喝

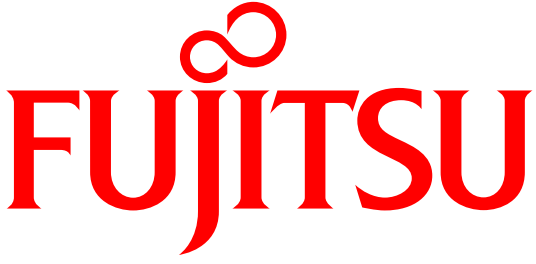
タイプ4

後を絶たない
過失による情報漏えい

過失による情報漏えい

富士通が考える段階的なセキュリティ対策 4Step





shaping tomorrow with you